

# 2025年5月23日 第3512回例会

於： 横須賀商工会議所



- <点鐘・開会> 12:30 高橋 会長  
<斉唱> 「それこそロータリー」  
<ゲスト紹介> \*アイアールテック株式会社 代表 坂本 稔 様  
\*横須賀ローターアクトクラブ OG 関 珠美 様  
\*株式会社横浜銀行  
執行役員南部地域本部長兼横須賀支店長 池田 亨 様

- <会長報告> \*第1グループ会長・幹事会 報告  
\*ガバナー事務所より  
・青少年交換派遣候補生・来日学生合同オリエンテーションのご案内について  
開催日時：6月7日(土) 15:00～17:00  
場所：第一相澤ビル8F「会議室」

- <委員長報告> \*職業奉仕委員会 椿委員長より職場見学会のお礼について

- <幹事報告> \*会報などのペーパーレス化に関するアンケートへのご協力依頼について

- <出席報告> \*出席委員会 角井副委員長から5月23日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
112名	101名	62名(2名)	37名	7名	69.61%

メイクアップ：勝見、小林(一)、鈴木(孝) 各会員 理事役員会出席 竹株、田中両会員 三浦RC出席  
小佐野、鈴木(康)両会員 かながわ湘南RC出席

## <ニコニコ報告>

- ・三 役 アイアールテック株式会社 代表 坂本稔様、本日の卓話宜しくお願ひいたします。  
海外でのご活躍のお話しを楽しみにしています。
- ・木村、梁井、植田、浅葉、物井、徳永、江口、鈴木(切)、澤田、齋藤眞、小山(颯)、齋藤(働)、前田、松本(剛)、杵(洸)、藤村 各会員  
アイアールテック株式会社 代表 坂本稔様ようこそお越しくございました。卓話も楽しみにしておりますのでどうぞよろしくお願ひいたします。
- ・三 役 横須賀ローターアクトクラブOG 関珠美様、本日の例会も最後までごゆっくりお楽しみください。
- ・大石、石田、加藤(働)、八巻、物井、権田、角井、齋藤眞、根岸、小林(働) 各会員  
横須賀ローターアクトクラブOG 関珠美様ようこそお越しくございました。ごゆっくり例会をお楽しみください。
- ・5番テーブル鈴木(働)マスター、角井サブマスター 5月20日、和きちにおいて5番テーブルミーティングを開催しました。話題も笑いも尽きることなく大いに盛り上がりました。ご参加いただいた渡邊副会長、比護副SAA、事務局三宅さん、テーブルメンバーの皆様ありがとうございました。
- ・萩原、齋藤(働)、若麻(績)、Enora 各会員 5月20日、和きちにて5番テーブルミーティングがありました。渡邊副会長、比護副SAA、三宅さんにも参加頂き、たくさんの食事を美味しく頂きました。鈴木マスター、角井サブマスターありがとうございました。
- ・7番テーブル岡田(働)マスター、八木サブマスター 5月21日に開催いたしました7番テーブルミーティングにご参加頂きました皆様ありがとうございました。渡邊副会長、小山SAA、三宅さんご参加、盛り上げありがとうございました。高橋会長のお酒の差入れ最高でした。
- ・加賀本、鈴木(働)、石田、権田、北村、田邊 各会員  
5月21日に大黒屋にて7番TMを開催いたしました。飲みきれないほどのお酒を頂いた高橋会長、ご参加いただいた渡邊副会長、小山SAA、三宅さん諸々のご手配を頂き

ました岡田英城TM、八木SMありがとうございました。美味しいお食事と岡田マスターからのシュワシュワをはじめとした沢山のお酒で楽しいひと時を過ごすことができました。また、偶然当日誕生日であった権田会員からは「盛大にお祝いして頂き感無量です。ぜひ、来年の誕生日も宜しく願います！」と喜びの声をいただきました。

- ・高橋 会長 7番テーブルミーティング、欠席して申し訳ありませんでした。
- ・渡邊、小山(奥)、比護 各会員 テーブルミーティングに参加させて頂きありがとうございました。
- ・椿職業奉仕委員長 先週の職場見学会にたくさんのご参加を頂き、皆様のご協力のおかげで無事に終わることが出来ました。又、すでにご案内済ですが6月3日の第2弾も急なお願いで恐縮ですが、宜しく願い致します。
- ・前田ガバナー補佐 明日の第1グループ主催の「新会員と集う会」に出席の会員の方は16:00に横須賀中央駅Yデッキ改札前に集合です。楽しい夕べに致しましょう。よろしく願います。
- ・岡田(由)、高橋、大野(隼)、梶木、植田、新倉、北村、真野、八木、杉浦、吉田(久)、澤田、角井、長尾、齋藤(眞)、鈴木(豊)、田邊、齋藤(隼)、谷、野坂、瀬戸、三井、山下、土田、小林(隼)、小山(奥) 各会員  
岡田英城会員の会社が様々な要件を満たし地域に貢献するなど中小企業の活性化に寄与することを趣旨としたかながわ中小企業モデル工場に指定されました。ますますのご活躍に期待しています。
- ・岡田(奥) 会員 ニコニコありがとうございます。これからも頑張っていきます。また、先週神奈川新聞に日産自動車の移転関連に伴って弊社が異業種参入という記事も掲載されましたが、大げさで実はたいしたことないんですよ。本日は欠席ですみません。

<卓 話>

「アラブから見た世界そして日本」

アイアールテック株式会社  
代表 坂本 稔 様

アールテック株式会社の坂本と申します。海外に35年間住んでいまして、一昨年日本に帰国しました。見た目は初老の紳士という感じなのですが、中身は35歳の外国人です。日本人とは考え方が全く違っていて、イエス／ノーがはっきりしない会話が分からないのと、“大丈夫”という言葉が分かりません。今日は私が25年間いた中東についてお話をさせていただきます。

中東というと、皆さんはどのようなイメージがあるのか分かりませんが、全く分からない地域なんじゃないかなと思います。私自身、中東に行った時、アラブ首長国連邦、なんだそれっというような感じでした。それはドバイのある7つの首長国からなる国なのです。そのような皆さんはあまりご存じないかもしれないお話を今日はさせていただきます。

中東において混乱が続くのはなぜか、これは歴史を振り返ってみてもエルサレムという土地が三大宗教(ユダヤ教、キリスト教、イスラム教)の発祥地であることが関連しています。アラブから奪回するために

十字軍を派遣したり、オスマントルコ帝国によってそこが奪回させられたり、その後イスラエルが建国されたりします。そういった歴史を持つ地域です。

また、中東には火種となるエネルギー源があります。それを牛耳っているのはセブンシスターズという石油のメジャーの財閥です。イスラエルのガザ侵攻、この背景というのは個人的な意見なので、そのように捉えていただきたいのですが、後ほどそのお話をさせていただきます。

中東をめぐる各国の利害と思惑に絡む問題として新疆・ウイグルという地域があります。そこは中国の国内ですが住民はイスラム教徒なのです。基本的にイスラム教徒というのはイスラム教徒同士で助け合わなければいけないというのが基本的な理念なのですが、にもかかわらず何故イランは新疆・ウイグルを助けないのだろう。そこにはイデオロギーが絡むのです。各国のそういったことが背景にあります。

2001年の同時多発テロ、これは世界を変えました。多分日本ではあまりそういう意識がないと思うのですが、世界的に見ると、商流ガラッと変わったのです。私が当時、中東にいたときにそれを経験しました。

これからの世界情勢と日本についてですけれども、本当の歴史を教える教育が非常に重要になると私は思っています。いろいろな面で歪んだ歴史教育がなされているのではないかなと感じています。海外から日本を見るために日本の物を見たり、日本の歴史をやたらと読むようになるのです。そうすると、あれっと思うことがたくさん出てきます。日本人のパスポートの保有率はなんと人口の17%しかないのです。アメリカだったら45%です。日本がいかにか国際化から遅れているかということの表れだと思います。外国人との共生とは何か。これについてはいろいろな問題が起きています。私は外国人で高度な能力を持つ人材の紹介を行っている会社を営んでいますが、いろいろな面で変えていかなければならないという面があると思っています。

中東とはどこの国のことなのでしょう。これは外務省が発表している国です。東はパキスタンから始まって、西はモリタニアまで、これを中東と言っています。ただ、パキスタンはもともとインドだった国だし、アフガニスタンはソ連邦の一部だったので、個人的にはこれらは中東とは言えないと思っています。

次にアラブ諸国というのはどの国を指すかですが、これはアラブリーグ(アラブ連盟)に加盟している国々、アラブ語を喋ってイスラム教徒がほぼ国を運営している国、それがアラブです。

イスラエルについてですが、レバノン、ヨルダン、エジプト、シリア、それらに囲まれている小さい国がイスラエルです。パレスチナ自治区がガザ地区とヨルダン川西岸地域になっています。ヨルダン川西岸地区に隣接したところにエルサレムがあります。パレスチナ分割案がイギリスを中心に出るわけですが、その背景には、イギリスの三枚舌外交というものがありました。イギリスはユダヤ財閥からサポートしてもらうために、イスラエルのシオニズムというものを利用したのです。旧約聖書に出てくるイスラエル人に約束されたカナンの地とは東はユーフラテス川、西はナイル川までの地域のことです。今、イスラエルでガザの侵攻問題が出ていますよね。その前に何が起こっていたかを思い返してみてください。これはアメリカによるものですが、イラクを破壊しました。次にシリアも破壊されます。その思惑って何だろうと私は考えています。シリアを壊すにあたって、アサド政権を倒さなければならなかったのです。どういう図ができたかというと、ロシアとイランはアサド政権をサポートして、それ以外はみんな反体制派をサポートする形になり、クルド人を使ったわけです。その時、クルド人というのは、国を持たない世界最大の民族と言われていました。4つの国にまたがって住んでいる人たちです。日本でも西川口で問題になっていましたが、クルド人はイスラム教徒なのですが、どちらかというと世俗的なイスラム教徒なので、お酒も飲むし、あまりイスラム教の戒律を守らない人たちです。要するに、砂漠や岩がゴロゴロしているようなところで住んでいる人たち



で、産業はほとんどありません。日本に難民として入国して、ただ稼ぎたいだけです。イラクとシリアの場合、実態はこのクルド人を使ってイラクとシリアを倒した。着々とイスラエルの構想、グレートイスラエルという構想を利用したのです。ユーフラテス川からナイル川まで、そこまでをカナンの地として奪回しようとしています。それはいろんな手段を使っているガザもそこに入っている。ガザの沖では大きなガス田が発見されたと言われています。それも日本のマスコミは発表していません。すでにエジプトとイスラエルの間では密約が交わされていて、それをイスラエルに運ぶために一番いいルートはガザからパイプラインを持つてくることだと思います（これは個人的な意見なのですが）。

今の日本に中東に目を向けてほしいなと思うのは、日本が輸入する化石燃料の相手国がほとんど中東だということです。これに関連し、中国が台湾に侵攻すると何故まずいのかということなのですが、仕入レーンが中国によって抑えられてしまうので、それによって日本が困るのは石油とかガスの輸入ルートです。そういうものに影響が出るということを一応覚えておいていただけるとありがたいです。中東とかアジア南米で紛争が起こっていますが、いつも背後にエネルギー利権があります。日本で独自のルートを作ろうとしたのが出光なのです。初代日章丸は米軍の潜水艦により爆発されました。2代目日章丸はイランから軽油を輸入したのです。それで成功してずっと独立した会社としてやってきたけども結局セブンシスターズに吸収されてしまいます。

1962年のミャンマー軍事クーデター、これもミャンマーで巨大なガス田が発見されたのです。それも日本ではあまり知られていません。イラン革命が起こって日本が進めていたI J P C（イラン・ジャパン石油化学）が設立されます。この背景が非常に複雑だと私は個人的に思っています。

レバノンの内戦。レバノンは、人口の30%がキリスト教徒、70%がイスラム教徒なのですが、レバノンを完全にキリスト教徒の国にしてしまおうという目論みがあったのだと思います。PLOの難民キャンプができたことによってレバノンの内戦が始まりました。

1990年、イラクによるクウェート侵攻。この背景に関してもいろいろなきな臭いものを感じます。イラク経済を疲弊させて石油メジャーがコントロールしやすいようにしたというふうに思っています。米国のイラク戦争、ベネズエラ／ガイアナ戦争も石油戦争ですよ。イエメン内戦、サウジを緊張感のもとに置いておくためですね。

次に私が8年間住んでいたレバノンについてです。レバノンでは内戦を経験しました。内戦が起こると、その国が無政府状態になります。要するにフリーゾーンができるのです。そういったファシリティーを使いたくてレバノンへ行きました。私はその内戦の最中でありながらレバノンに出張していたとき、実の兄貴だけに何かあったらレバノンだからと伝えていました。そこでは目の前で銃撃戦が始まったり、自動車爆弾の爆風で車ごと飛ばされたり、空港で飛行機を待っていたらミサイルで攻撃されて16時間空港に閉じ込められたり、イスラエルによる空爆を受けたり・・・これら全部を経験しました。よく生きていたなという感じですね。レバノンという国がフリーゾーンになり、レバノンの人たちは色々な国に移民しました。例えば日産の社長だったカルロス・ゴーンファミリーはブラジルに移民しています。カルロス・ゴーンはブラジル人ですが、元々フェニキア人といって、地中海貿易を牛耳っていた人たちの末裔です。その人たちがいろいろなところに散ってしまったので、レバノンという内戦でフリーゾーン化したところが拠点となって、そこからいろいろな商品がいろいろな国に流れるようになるんです。そこを我々は使ったということです。そういう商売が国境や大陸では行われているわけです。

レバノンというのは、中東のパリ、地中海の真珠と言われているようなところで、内乱前はとて素晴らしい国だったんです。内乱後もサービス精神はずっと残っていて、レバノンに行くとエンターテイメントが非常に素晴らしいです。内乱中もカジノをやっていて、世界の3大カジノ（ベイルート・ハバナ・ムーランルージュ）のネットワークが未だに続いています。レバノンは非常に綺麗なところですが、ここはいつも侵略され続けた国です。オスマントルコであったり、十字軍であったり、時にペルシャ帝国の一部だったり、そういったものから逃れるために、山中には誰にも知られない村がありました（言葉も違う）。レバノンには山脈があり、5月はまだ根雪があって、山ではスキー、海では水上スキーが同日にできるという珍しい国です。レバノン人の料理は前菜が冷菜・温菜（30～60種類）から始まって、メインが2種類、それを5～6時間かけてお昼に食べたり、歌ったり踊ったりしながら、楽しんでる人たちです。

レバノンの国旗はレバノン杉を型取ったものです。レバノン杉というのはツタンカーメンの棺に使われたと言われていました。やたらレバノン杉を採りすぎてしまったので、ほとんど残っていなくてレバノンの山脈の一部にしか残っていません。そのレバノン杉が国旗に使われています。

私はちょうど内乱が終わって、レバノンに住み始めたのですが、その住み始めて1年後に結婚して「窓から地中海が見えるのだよ」と言って（嘘じゃないですよ、本当に見える）妻を連れてきました。でも、妻を連れて降り立った時に銃痕の跡を見て騙したって言われました。そりゃそうですよね。

私の仕事の関係の話になってしまいますが、外国人を雇用する際の注意点です。国の環境、文化、歴史の認識の違いがあることを雇用主の方たちは分かっていたきたいです。外国人スタッフへの注意は、個別に個室で行って、他の人の前で絶対に注意をしない、人前で注意はご法度です。外国の国々、歴史、文化、宗教の違いをお分かりいただきたいです。これは日本と全く違います。私は2年前に日本に帰ってきて2年間住んでみて思うのは疲れるということです。日本はめっちゃくちゃ疲れる。やたらと規則があるんですね。車が通っていないのに赤だと、みんな待っていますよね。ありえないですよ。携帯を見ながら歩いていますよね。ありえないです。外国で携帯を見ながら歩いていたら、後ろからバイクが来て、誰かに携帯を盗られてしまいます。だから常に周りを気にしながら海外では生活していました。それが全くないのが逆に怖いんですね。私はそういう環境の中にいたので、外国人に日本のシステムを分かってもらうことが難しいことを理解しています。そこで、私は外国人から高度な人材を連れてきて、その方たちに日本を勉強してもらい、その人たちから同じ国の人たちに日本のルールを覚えてもらうシステムを作りたくて、会社を起こしたという背景があります。

私はドバイに行ったときに工作機械メーカーの会社を設立したのですが、中東の代理店として、一緒に働いていたスタッフには5か国の人間が働いており、日本人も働いていましたが、一番使いづらかったのは日本人です。

以上になります。ご清聴いただきありがとうございました。

<閉会・点鐘> 13:00 高橋 会長

週報担当 松川 太郎